

岸 洋子（きし ようこ）氏
歌と酒田を愛した歌手です。



提供：酒田市立資料館

【経歴】

- 昭和9年（1934年）に酒田市八軒町（現在の新井田町）に生まれる。
- 子どものころより歌が得意で、声楽家・加藤千恵に才能を見出されレッスンを受ける。
- 酒田東高校卒業後、オペラ歌手を目指し東京芸術大学声楽科に進学するが、病のため断念する。その後、療養中に聞いたエディット・ピアフの歌に魅了され、シャンソン歌手としての道を歩む。
- 昭和36年（1961年）に『たわむれないで』でレコードデビュー。彼女の歌唱力、表現力は日本中の人々の心をつかみ、『夜明けのうた』（昭和38年）、『希望』（昭和45年）など、多くのヒット曲を世に送り出した。
- 彼女が患っていた病は膠原病こうげんびょうといわれる難病だった。そのため、歌手としての人生は平坦な道のりではなかったが、平成4年（1992年）に58歳で亡くなるまで精力的に立ち続けた。
- 昭和44年、59年には文化庁の芸術祭優秀賞を受賞。昭和51年（1976年）の酒田大火後には、全国各地でチャリティーコンサートを行い復興こんじゅうほうしゅうに尽力し、紺綬褒章、酒田市特別功労表彰を受ける。

出典

- 岸 洋子 氏の参考資料
・酒田市立資料館製作資料